

Ⅲ 結果の概要

1. 総住宅数及び総世帯数

平成20年10月1日現在の本市の総住宅数は182,280戸で、平成15年に比べ5,220戸、2.9%増加している。総世帯数は158,700世帯で、3,610世帯、2.3%増加し、世帯人員は420,720人で700人、0.2%の減少となっている。

世帯人員がほぼ横ばいなのに対し、住宅数、世帯数が増加し続けているのがわかる。(表1)

表1 総住宅数、総世帯数、世帯人員、一世帯当たりの住宅数(昭和63年～平成20年)

— 横須賀市 —

年次	総住宅数	総世帯数	世帯人員	一世帯当たりの住宅数	神奈川県
昭和63年	141,730	132,090	419,480	1.07	1.09
平成5年	155,160	140,860	421,090	1.10	1.10
10年	164,200	144,910	419,320	1.13	1.11
15年	177,060	155,090	421,420	1.14	1.11
20年	182,280	158,700	420,720	1.15	1.12
		増	減	数	
昭和63～平成5年	13,430	8,770	1,610	-	-
5～10年	9,040	4,050	△ 1,770	-	-
10～15年	12,860	10,180	2,100	-	-
15～20年	5,220	3,610	△ 700	-	-
		増	減	率 (%)	
昭和63～平成5年	9.5	6.6	0.4	-	-
5～10年	5.8	2.9	△ 0.4	-	-
10～15年	7.8	7.0	0.5	-	-
15～20年	2.9	2.3	△ 0.2	-	-
(参考)神奈川県		増	減	率 (%)	
昭和63～平成5年	13.7	12.0	5.0	-	-
5～10年	10.9	9.7	3.0	-	-
10～15年	10.1	10.0	3.5	-	-
15～20年	8.4	8.4	2.0	-	-

2. 居住世帯の有無別住宅数

総住宅数 182,280 戸のうち、居住世帯がある住宅は 157,430 戸で総住宅数の 86.4%を占め、居住世帯のない住宅は 24,850 戸で 13.6%である。これを平成 15 年と比べると、居住世帯のある住宅は 3,940 戸、2.6%増加し、居住世帯のない住宅は 1,280 戸、5.4%増加している。(表 2)

表2 居住世帯の有無別住宅数(昭和63年～平成20年)

— 横須賀市 —

年次	総住宅数								住宅以外で人が居住する建物数
	総数	居住世帯あり			居住世帯なし				
		計	同居世帯なし	同居世帯あり	計	一時現在者のみ	空き家	建築中	
昭和63年	141,730	130,110	128,650	1,450	11,620	1,150	9,990	480	430
平成5年	155,160	138,940	137,260	1,680	16,220	2,720	12,950	550	200
10年	164,190	142,310	140,080	2,230	21,880	960	18,460	2,460	250
15年	177,060	153,490	152,010	1,480	23,570	1,570	21,600	400	120
20年	182,280	157,430	156,160	1,270	24,850	920	22,190	1,740	110
構 成 比 (%)									
昭和63年	100.0	91.8	90.8	1.0	8.2	0.8	7.0	0.3	-
平成5年	100.0	89.5	88.5	1.1	10.5	1.8	8.3	0.4	-
10年	100.0	86.7	85.3	1.4	13.3	0.6	11.2	1.5	-
15年	100.0	86.7	85.9	0.8	13.3	0.9	12.2	0.2	-
20年	100.0	86.4	85.7	0.7	13.6	0.5	12.2	1.0	-
増 減 数 (戸)									
昭和63～平成5年	13,430	8,830	8,610	230	4,600	1,570	2,960	70	△230
5～10年	9,030	3,370	2,820	550	5,660	△1,760	5,510	1,910	50
10～15年	12,870	11,180	11,930	△750	1,690	610	3,140	△2,060	△130
15～20年	5,220	3,940	4,150	△210	1,280	△650	590	1,340	△10
増 減 率 (%)									
昭和63～平成5年	9.5	6.8	6.7	15.9	39.6	136.5	29.6	14.6	△53.5
5～10年	5.8	2.4	2.1	32.7	34.9	△64.7	42.5	347.3	25.0
10～15年	7.8	7.9	8.5	△33.6	7.7	63.5	17.0	△83.7	△52.0
15～20年	2.9	2.6	2.7	△14.2	5.4	△41.4	2.7	335.0	△8.3

3. 住宅の種類、建て方、建築の時期、構造及び所有の関係

(1) 住宅の種類

居住世帯のある住宅を種類別にみると、専用住宅が154,950戸で全体の98.4%、店舗その他の併用住宅が2,480戸で1.6%となっている。平成15年と比べると、専用住宅が6,750戸、4.6%の増加、店舗その他の併用住宅が2,810戸、53.1%の減少となっており、専用住宅の割合が増加している。(表3)

表3 種類別住宅数(昭和63年～平成20年)

— 横須賀市 —

年次	総数	専用住宅	農林漁業併用住宅	店舗その他の併用住宅
昭和63年	130,110	124,480	160	5,470
平成5年	138,930	132,730	90	6,110
10年	142,310	135,900	100	6,310
15年	153,490	148,200	-	5,290
20年	157,430	154,950	-	2,480
構 成 比 (%)				
昭和63年	100.0	95.7	0.1	4.2
平成5年	100.0	95.5	0.1	4.4
10年	100.0	95.5	0.1	4.4
15年	100.0	96.6	-	3.4
20年	100.0	98.4	-	1.6
増 減 数 (戸)				
昭和63～平成5年	8,820	8,250	△ 70	640
5～10年	3,380	3,170	10	200
10～15年	11,180	12,300	-	△ 1,020
15～20年	3,940	6,750	-	△ 2,810
増 減 率 (%)				
昭和63～平成5年	6.8	6.6	△ 43.8	11.7
5～10年	2.4	2.4	11.1	3.3
10～15年	7.9	9.1	-	△ 16.2
15～20年	2.6	4.6	-	△ 53.1

(注) 平成15年調査より「農林漁業併用住宅」の区分は「店舗その他の併用住宅」に統合された。

(2) 住宅の建て方

住宅の建て方別にみると、一戸建が93,210戸で全体の59.2%を占め、長屋建は2,400戸で1.5%、共同住宅・その他は61,810戸で39.3%となっている。

平成15年と比べると、一戸建は400戸、0.4%の減少、長屋建は680戸、22.1%の減少、共同住宅・その他は5,000戸、8.8%の増加となっている。

県全体の構成比をみると、共同住宅・その他が56.4%、一戸建が41.4%、長屋建が2.2%の順になっており、本市は県全体と比較すると一戸建の割合が多く、共同住宅・その他が少ない。

(表4)

表4 建て方別住宅数(昭和63年～平成20年)

— 横須賀市 —

年次	総数	一戸建	長屋建	共同住宅 その他
昭和63年	130,110	80,170	6,160	43,780
平成5年	138,930	78,560	5,610	54,750
10年	142,310	85,790	4,380	52,150
15年	153,490	93,610	3,080	56,810
20年	157,430	93,210	2,400	61,810
構 成 比 (%)				
昭和63年	100.0	61.6	4.7	33.6
平成5年	100.0	56.5	4.0	39.4
10年	100.0	60.3	3.1	36.6
15年	100.0	61.0	2.0	37.0
20年	100.0	59.2	1.5	39.3
増 減 数 (戸)				
昭和63～平成5年	8,820	△ 1,610	△ 550	10,970
5～10年	3,380	7,230	△ 1,230	△ 2,600
10～15年	11,180	7,820	△ 1,300	4,660
15～20年	3,940	△ 400	△ 680	5,000
増 減 率 (%)				
昭和63～平成5年	6.8	△ 2.0	△ 8.9	25.1
5～10年	2.4	9.2	△ 21.9	△ 4.7
10～15年	7.9	9.1	△ 29.7	8.9
15～20年	2.6	△ 0.4	△ 22.1	8.8
(参考)神奈川県				
構 成 比 (%)				
昭和63年	100.0	49.7	3.5	46.8
平成5年	100.0	44.7	3.0	52.3
10年	100.0	43.4	2.5	54.1
15年	100.0	42.5	2.3	55.2
20年	100.0	41.4	2.2	56.4
増 減 率 (%)				
昭和63～平成5年	12.2	0.8	△ 2.6	25.3
5～10年	9.5	6.5	△ 10.6	13.2
10～15年	10.2	7.9	2.7	12.4
15～20年	8.6	5.7	5.1	10.9

(3) 住宅の建築の時期

住宅を建築の時期別にみると、本市では昭和 55 年以前に建築された住宅の構成比が 35.4%となっており、県全体の同構成比 24.5%と比較して、おおよそ築年数 30 年以上の住宅が多くなっている。(表 5)

表5 建築の時期別住宅数(平成15年、平成20年)

— 横須賀市 —

建築の時期	住宅数	構成比(%)	(参考)県の構成比(%)
平成15年			
総 数	153,490	100.0	100.0
昭和35年以前	11,170	7.3	3.2
昭和36年～45年	14,940	9.7	8.7
昭和46年～55年	38,470	25.1	18.9
昭和56年～60年	16,800	10.9	11.8
昭和61年～平成2年	19,140	12.5	15.6
平成3年～7年	19,440	12.7	14.6
平成8年～12年	21,600	14.1	15.6
平成13年～15年9月	9,360	6.1	7.0
不詳	2,570	1.7	4.6
平成20年			
総 数	157,430	100.0	100.0
昭和35年以前	8,690	5.5	2.4
昭和36年～45年	12,040	7.6	6.6
昭和46年～55年	35,090	22.3	15.5
昭和56年～平成2年	27,050	17.2	21.4
平成3年～7年	18,780	11.9	11.3
平成8年～12年	17,720	11.3	13.7
平成13年～17年	17,830	11.3	13.9
平成17年～20年9月	6,830	4.3	5.9
不詳	13,400	8.5	9.4

(4) 住宅の構造

住宅を構造別にみると、防火木造が 69,320 戸で全体の 44.0%、鉄筋コンクリート造などの非木造が 55,890 戸で 35.5%、木造が 32,220 戸で 20.5%となっている。

平成 15 年と比べると、防火木造、非木造が微増し、木造はほぼ増減なしである。

県全体の構成比と比べると、本市は防火木造の割合が高く、非木造の割合が低い。(表 6)

表6 構造別住宅数(昭和63年～平成20年)

— 横須賀市 —

年次	総数	木造	防火木造	非木造
昭和63年	130,110	50,750	47,230	32,130
平成5年	138,930	38,990	56,870	43,080
10年	142,310	46,810	50,360	45,140
15年	153,490	32,910	67,250	53,330
20年	157,430	32,220	69,320	55,890
構 成 比 (%)				
昭和63年	100.0	39.0	36.3	24.7
平成5年	100.0	28.1	40.9	31.0
10年	100.0	32.9	35.4	31.7
15年	100.0	21.4	43.8	34.7
20年	100.0	20.5	44.0	35.5
増 減 数 (戸)				
昭和63～平成5年	8,820	△ 11,760	9,640	10,950
5～10年	3,380	7,820	△ 6,510	2,060
10～15年	11,180	△ 13,900	16,890	8,190
15～20年	3,940	△ 690	2,070	2,560
増 減 率 (%)				
昭和63～平成5年	6.8	△ 23.2	20.4	34.1
5～10年	2.4	20.1	△ 11.4	4.8
10～15年	7.9	△ 29.7	33.5	18.1
15～20年	2.6	△ 2.1	3.1	4.8
(参考)神奈川県				
構 成 比 (%)				
昭和63年	100.0	31.9	35.4	32.7
平成5年	100.0	21.4	39.6	39.0
10年	100.0	18.3	38.3	43.3
15年	100.0	17.7	35.6	46.8
20年	100.0	14.5	35.8	49.7
増 減 率 (%)				
昭和63～平成5年	12.2	△ 24.7	25.6	33.6
5～10年	9.5	△ 6.1	5.9	21.6
10～15年	10.2	6.0	2.2	19.0
15～20年	8.6	△ 10.9	9.2	15.4

(5) 住宅の所有の関係

住宅の所有の関係別にみると、持ち家が111,450戸で全体の70.8%、借家が39,390戸で25.0%となっている。

持ち家が2,310戸、2.1%増加している一方、借家は3,230戸、7.6%減少している。(表7)

表7 所有の関係別住宅数(昭和63年～平成20年)

— 横須賀市 —

年次	総数 (注)	持ち家	借 家			
			総数	公営・ 公団公社	民営	給与住宅
昭和63年	130,110	82,390	47,190	8,290	32,370	6,540
平成5年	138,930	85,950	51,690	8,790	35,290	7,620
10年	142,310	96,960	44,580	7,070	32,150	5,370
15年	153,490	109,140	42,620	9,330	27,890	5,390
20年	157,430	111,450	39,390	10,060	26,630	2,700
構 成 比 (%)						
昭和63年	100.0	63.3	36.3	6.4	24.9	5.0
平成5年	100.0	61.9	37.2	6.3	25.4	5.5
10年	100.0	68.1	31.3	5.0	22.6	3.8
15年	100.0	71.1	27.8	6.1	18.2	3.5
20年	100.0	70.8	25.0	6.4	16.9	1.7
増 減 数 (戸)						
昭和63～平成5年	8,820	3,560	4,500	500	2,920	1,080
5～10年	3,380	11,010	△ 7,110	△ 1,720	△ 3,140	△ 2,250
10～15年	11,180	12,180	△ 1,960	2,260	△ 4,260	20
15～20年	3,940	2,310	△ 3,230	730	△ 1,260	△ 2,690
増 減 率 (%)						
昭和63～平成5年	6.8	4.3	9.5	6.0	9.0	16.5
5～10年	2.4	12.8	△ 13.8	△ 19.6	△ 8.9	△ 29.5
10～15年	7.9	12.6	△ 4.4	32.0	△ 13.3	0.4
15～20年	2.6	2.1	△ 7.6	7.8	△ 4.5	△ 49.9

(注) 住宅の所有の関係「不詳」を含む。

4. 住宅の規模

住宅の規模をみると、1住宅当たり居住室数は4.54室、1住宅当たり居住室の畳数は31.01畳、1住宅当たり延べ面積は84.74㎡となっており、1住宅当たり居住室の畳数が増加し他の2項目はわずかに減少した。

1人あたり居住室の畳数は毎回増加している。

県全体の規模と比べるとすべての項目について本市の数値が大きくなっている。(表8)

(表9)

表8 住宅の規模(昭和63年～平成20年)

— 横須賀市 —

	昭和63年	平成5年	10年	15年	20年
住宅総数					
1住宅当たり居住室数(室)	4.38	4.42	4.46	4.59	4.54
1住宅当たり居住室の畳数(畳)	26.97	27.95	29.12	30.73	31.01
1住宅当たり延べ面積(㎡)	74.24	76.94	81.47	85.27	84.74
専用住宅					
1住宅当たり居住室数(室)	4.36	4.40	4.45	4.57	4.53
1住宅当たり居住室の畳数(畳)	26.76	27.72	28.96	30.48	30.95
1住宅当たり延べ面積(㎡)	72.37	74.82	79.79	83.54	84.27
(参考)神奈川県					
住宅総数					
1住宅当たり居住室数(室)	4.09	4.06	4.06	4.07	4.02
1住宅当たり居住室の畳数(畳)	25.52	25.99	26.77	27.73	28.09
1住宅当たり延べ面積(㎡)	70.25	71.24	73.31	75.78	76.46
専用住宅					
1住宅当たり居住室数(室)	4.06	4.03	4.03	4.05	4.00
1住宅当たり居住室の畳数(畳)	25.32	25.79	26.57	27.56	27.96
1住宅当たり延べ面積(㎡)	68.24	69.64	71.89	74.60	75.66

表9 1人当たり居住室の畳数の推移(昭和63年～平成20年)

— 横須賀市 —

	昭和63年	平成5年	10年	15年	20年
住宅総数	8.47	9.27	9.99	11.29	11.87
専用住宅	8.44	9.23	9.95	11.20	11.85
(参考)神奈川県					
住宅総数	8.32	8.99	9.82	10.77	11.43
専用住宅	8.29	8.96	9.78	10.74	11.40

5. 最低居住面積水準・誘導居住面積水準

主世帯数 157,430 世帯のうち、最低居住水準以上の世帯は 144,100 世帯で構成比は 91.5%となっている。平成 15 年と比べると、持ち家は水準以上の世帯の構成比が増加しているのに対し、借家の水準以上の世帯の構成比が減少しており、全体として水準以上の世帯の構成比が減少した。

(表 10)

表10 住宅の所有の関係、最低居住面積水準状況別主世帯数(昭和63年～平成20年)

— 横須賀市 —

調査年	区分	総数		最低居住面積水準			
				水準以上の世帯		水準未満の世帯	
		実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
平成 10 年	総数 (注)	142,310	100.0	132,850	93.4	7,490	5.3
	持ち家	96,960	100.0	94,540	97.5	1,790	1.8
	借家	44,580	100.0	38,320	86.0	5,700	12.8
	公営・公団公社	7,070	100.0	5,740	81.2	1,260	17.8
	民営借家	32,150	100.0	27,520	85.6	4,200	13.1
	給与住宅	5,370	100.0	5,060	94.2	250	4.7
平成 15 年	総数 (注)	153,490	100.0	144,220	94.0	6,050	3.9
	持ち家	109,140	100.0	106,970	98.0	1,390	1.3
	借家	42,620	100.0	37,260	87.4	4,660	10.9
	公営・公団公社	9,330	100.0	8,100	86.8	1,110	11.9
	民営借家	27,900	100.0	24,240	86.9	3,130	11.2
	給与住宅	5,390	100.0	4,910	91.1	430	8.0
平成 20 年	総数 (注)	157,430	100.0	144,100	91.5	6,740	4.3
	持ち家	111,450	100.0	110,530	99.2	920	0.8
	借家	39,390	100.0	33,570	85.2	5,820	14.8
	公営・公団公社	10,060	100.0	8,770	87.2	1,300	12.9
	民営借家	26,630	100.0	22,280	83.7	4,340	16.3
	給与住宅	2,700	100.0	2,520	93.3	180	6.7

(注) 住宅の所有の関係「不詳」を含む。

表11 住宅の所有の関係・建て方・世帯の型・家計を主に支える者の年齢、
誘導居住面積水準状況別主世帯数(平成20年)

— 横須賀市 —

住宅の所有の関係 建てての世帯の 家計を主に支える者の年齢	総数 (注1)	都市型誘導居住面積水準(注2)			一般型誘導居住面積水準(注3)		
		水準以上 の世帯	水準未満 の世帯	[再掲] 水準以上 の世帯で 設備等の 条件を満 たしてい る	水準以上 の世帯	水準未満 の世帯	[再掲] 水準以上 の世帯で 設備等の 条件を満 たしてい る
主世帯総数(注4,5)	157,430	22,920	33,400	20,800	55,470	39,050	53,100
(その1.住宅の所有の関係)							
持ち家	111,450	14,580	9,090	14,480	53,560	34,230	51,470
借家	39,390	8,340	24,310	6,320	1,920	4,820	1,630
公営の借家	8,630	1,960	6,450	1,120	-	230	-
都市再生機構・公社の借家	1,430	610	820	610	-	-	-
民営借家	26,630	5,110	15,260	3,950	1,770	4,480	1,480
給与住宅	2,700	660	1,780	620	150	110	150
(その2.住宅の建て方)							
一戸建	93,210	-	-	-	54,480	37,610	52,190
長屋建	2,400	-	-	-	690	1,400	650
共同住宅	61,470	22,920	33,400	20,800	-	-	-
その他	340	-	-	-	300	30	260
(その3.世帯の型)(注6)							
(1)65歳未満の単身	20,350	6,500	6,390	5,130	4,170	1,060	3,710
(2)65歳以上の単身	14,930	3,400	2,650	2,870	7,130	1,280	6,440
(3)夫婦のみ	36,720	6,850	5,280	6,780	19,920	4,220	19,520
(4)夫婦と6歳未満の者	7,090	1,980	2,240	1,980	1,680	1,150	1,660
(5)夫婦と6～17歳の者	16,270	810	5,330	810	2,750	7,180	2,750
(6)夫婦と18～24歳の者	8,880	390	2,410	390	1,860	4,180	1,810
(7)夫婦と25歳以上の者	25,030	660	3,010	660	9,490	11,620	9,310
(8)夫婦と18歳未満及び65歳以上の者	2,700	-	310	-	610	1,780	580
その他	21,430	1,950	5,090	1,900	7,170	6,250	6,700
(その4.家計を主に支える者の年齢)							
25歳未満	2,580	610	1,510	370	110	60	110
25～34	13,700	3,510	4,840	3,100	2,070	2,220	2,010
35～44	25,870	4,250	8,060	4,130	5,310	7,300	5,180
45～54	23,880	2,970	6,300	2,860	5,360	8,740	5,110
55～64	34,290	4,820	5,370	4,270	13,770	9,680	13,060
65歳以上	52,910	6,230	6,720	5,650	28,300	10,920	27,160
不詳	4,190	540	600	410	570	130	490

(注1) 最低及び誘導居住面積水準による必要量数「不詳」を含む。

2) 住宅の建て方「共同住宅」について区分。

3) 住宅の建て方「共同住宅」以外について区分。

4) 住宅の所有の関係「不詳」を含む。

5) 世帯の型「不詳」を含む。

6) 夫婦以外の世帯員が2人以上いる場合は年長者の年齢によって区分。